オープンキャンパス2010開催

― 過去最高の14,000人が来校 ―

列をなす来場者（神楽坂）

オープンキャンパスが8月7日（土）、8日（日）の2日間にわたり、神楽坂、野田キャンパスで開催されました。「あなたのきもちが科学をつくる」のキャッチフレーズを掲げ、例年よりも多くの研究室を開放し、実験や研究室ツアーが催されました。来場者数は土日の連続開催により、神楽坂、野田の両キャンパス合計で過去最高の約1万4000人となりました。

連日気温30度を超える真夏日の中、神楽坂キャンパスでは両日とも午前10時の開場前から受付を待つための列ができ、開場を30分以上早めてスタート。定員制の研究室ツアーはチケットを求める来場者で混雑し、配布開始30分で定員に達する研究室もありました。

初日に行われた、藤嶋学長によるオープニングセレモニー「17歳のときに知っておきたかったこと」と題した集中講義では、開場直後から満員となった教室は熱気に満ちていました。翌日は特に日曜日だったこともあってか、さらに来場者が増え、受付にできた列が一時は1号館受付から外堀通り沿いの双葉ビル前まで延びるほどでした。

一方、野田キャンパスではきめ細かく対応できるように今年から学生スタッフを大幅に増員。さらに、学生スタッフによる個別相談、見学ツアーなどでは、来場者が理科大生と身近に接することができる場となり、学生生活を実感することができたのではないでしょうか。

猛暑の中、広いキャンパスを見学するため、熱中症が心配されましたが、職員、学生スタッフが一丸となって、うちわの配布や無料ドリンクコーナーへ誘導し、事故なく無事に2日間のオープンキャンパスを終了することができました。

また、今年の来場記念グッズであるルービックキューブを模したオリジナル6面パズルは、ツイッターでも話題に挙がる好評ぶりで、模擬講義の合間に熱中する姿も見られました。

定員制の研究室ツアーは多くの来場者でにぎわった（神楽坂）

リニューアルした教室で模擬講義を待つ（神楽坂）

模擬実験の説明に熱心に耳を傾ける（野田）

藤嶋学長によるオープニングセレモニー

東京理科大学報

発行所
東京都新宿区神楽坂1-3
東京理科大学
広報課
☎03-3260-4271
http://www.tus.ac.jp/
（年4回発行）

主な内容

2面 教学関係主要役職者／新学部長・研究科長紹介
3面 維持拡充資金第二期寄付者芳名／創立125周年記念事業募金報告／総合研究機構フォーラム
4面 理工系学生の就職状況・理工系学生に求められているもの／葛飾Walk
5面 駒場研究室で〈センス〉学ぶ学生たち
6面 山口・諏訪東京理科大学ニュース
7面 韓国テグ大学剣道部が合宿／ソフトボール部・インカレで健闘
8面 「理大・人」／ホームカミングデー2010

北海道日高山系の沢でワンダーフォーゲル部が事故

8月15日（日）、本学ワンダーフォーゲル部員4人が合宿中に北海道十勝管内大樹町歴舟（れきふね）川上流で流される事故があり、3人の学生の尊い命が失われるという極めて残念な事態となりました。お亡くなりになった3人の方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様に心からお悔み申し上げます。

過去に事例のない大きな事故に際し、大学としてこの事態を重く受け止めております。今後の対策等については、ワンダーフォーゲル部を含め、学内の関係部署において事故の詳細を把握するとともに、この事故を教訓に学生団体活動（クラブ活動）のみならず、学生生活全般においてリスク管理教育を一層徹底指導した上で、後日、本紙でご報告いたします。

今回の事故に際し献身的にご協力いただきました自治体、警察、消防等の方々に、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

【事故の概要】
■発生場所：北海道十勝管内大樹町歴舟川上流
■発生日時：平成22年8月15日（日）夜
■状況：沢で野営中に鉄砲水にあい、テントごと流される。
■合宿参加者：
小池真紀夫（こいけまきお）理工学部 土木工学科・4年
宮城島久紀（みやぎしまひさのり）工学部第一部 機械工学科・3年
荒木悠児（あらきゆうじ）基礎工学部 生物工学科・2年
神野博司（かんのひろし）理学部第一部 応用化学科・1年

以上4人のうち、宮城島さん、荒木さん、神野さんの3人の死亡が8月18日（水）に確認されました。

葛飾キャンパス開設プレイベント「みんなの理科大学」開催

本学と葛飾区は、区民と学生が互いに交流を深めることができるようさまざまな分野での事業連携を進めています。生涯学習分野における連携事業として、科学体験教室「みんなの理科大学」を開催します。

日時 11月28日（日） 午前10時～午後4時
会場 ウィメンズパル 葛飾区立石5-27-1
参加費 無料

内容 小・中学生や高校生が、科学や理科の面白さを体験できる実験を行います。

❶科学体験教室
「金星探査『あかつき』、到着へのカウントダウン！」
JAXA教授 佐藤毅彦

❷特別講演会
「老いと寿命を科学する」
薬学部教授 田沼 靖一

❸おもちゃアイディアコンクール表彰式

❹公開講座
「気象データの楽しみ方」
本学卒 気象予報士 関 隆則

アームロボットを試着（神楽坂）

学生スタッフもてきぱきと対応（野田）

物華天宝

東京理科大学基礎工学部長万部キャンパスが「全人的教養教育」の理念を掲げ、1年間の全寮制課程を始めたのは1987年からである。基礎学力を養成する授業科目、北海道の大自然を満喫しながら地元に密着した学校行事に積極的に参加する。4人一部屋の全寮生活で自主性や協調性を培い人間性と創造力を醸成する▼教育者の小原國芳が「全人教育」という理念を初めて唱えたのは、大正10年（1921年）の八大教育主張講演会でのことである。「教育には人間文化の全部を盛らねばならぬ。全人とは完全人格すなわち調和ある人格である」。小原はまた「労作教育」という理念も唱えた。「教育は教え、詰め込み、棒暗記ではなく、摑み取り、体験し、創造するものだ」。この教育理念は、時代を超えて今なお連綿と支持されている▼高校生60人が参加して8月に開催された長万部キャンパスのサマースクールは、約40人の現役学生や院生が高校生たちと寝食を共にし実習実験や学習討論を展開した。学生たちを陰から支えていたのは約20人の教職員である。高校生・学生・教職員がひとつの有機体となって息づいていた▼ここに参加して感銘を受けたのは、はつらつと躍動する若い群像たちと、全人教育を体現した現場を見たからである。時代は変わり世界的な構造変革が進んでいる。しかし教育の原点は不変であることを長万部は実証していた。

（馬場錬成 東京理科大学専門職大学院 教授）

教学関係主要役職者（10月1日付）

平成22年10月1日付で補職等の異動が発令され、工学部第一部学部長に電気工学科の半谷精一郎教授、工学部第二部学部長に電気工学科の谷内利明教授、薬学部長に薬学科の田沼靖一教授、理工学部長に経営工学科の平川保博教授、経営学部長に経営学科の東邦仁虎教授、大学院理工学研究科長に工業化学科の阿部正彦教授が、新たに就任しました。

10月1日現在の主な補職等は次のとおり。

■学部

【理学部第一部】学部長　丸山　義博教授（任期中）

【理学部第二部】学部長　吉岡　朗教授（任期中）

【工学部第一部】学部長　半谷精一郎教授（新任）

【工学部第二部】学部長　谷内　利明教授（任期中）

【薬学部】学部長　田沼　靖一教授（新任）

【理工学部】学部長　平川　保博教授（新任）

【基礎工学部】学部長　友岡　康弘教授（任期中）

【経営学部】学部長　東邦　仁虎教授（新任）

＊

■大学院

【理学研究科】研究科長　宮島　静雄教授（任期中）

【総合化学研究科】研究科長　荒川　裕則教授（任期中）

【科学教育研究科】研究科長　村松　容一教授（任期中）

【工学研究科】研究科長　半谷精一郎教授（新任）

【薬学研究科】研究科長　田沼　靖一教授（新任）

【理工学研究科】研究科長　阿部　正彦教授（新任）

【基礎工学研究科】研究科長　友岡　康弘教授（任期中）

【経営学研究科】研究科長　東邦　仁虎教授（新任）

【生命科学研究科】研究科長　安部　良教授（任期中）

【総合科学技術経営研究科】研究科長　伊丹　敬之教授（再任）

＊

■その他の補職等

【長万部教養部長】藤井　志郎教授（任期中）

【学生部】学生部長　理一　小向得　優教授（新任）

神楽坂地区学生部長　工一　庄野　厚准教授（再任）

野田地区学生部長　理工　新井　孝夫教授（新任）

久喜地区学生部長　経営　平木　多賀人教授（新任）

【図書館】図書館長　工一　金子　堅司教授（任期中）

神楽坂図書館長　工一　金子　堅司教授（任期中）

野田図書館長　理工　越地　耕二教授（任期中）

久喜図書館長　経営　小坂　武教授（新任）

長万部図書館長　基工　榎本　一之教授（任期中）

【総合研究機構】機構長　理一　福山　秀敏教授（任期中）

【生命科学研究所長】生命　安部　良教授（任期中）

【情報科学教育・研究機構】機構長　工一　山本　誠教授（新任）

新学部長

工学部第一部
半谷精一郎教授

工学部第二部
谷内　利明教授

薬学部
田沼　靖一教授

理工学部
平川　保博教授

経営学部
東邦　仁虎教授

新研究科長

理工学研究科
阿部　正彦教授

6先生に名誉教授称号

東京理科大学は、永年にわたり本学の教育・研究の発展に尽力され、多くの功績を挙げられた6人の先生方に名誉教授の称号を授与しました。（敬称略）

近藤　昇一 先生

長谷川　佑子 先生

青木　基次 先生

谷　辰夫 先生

小林　武雄 先生

金場　昭範 先生

◇平成22年6月10日付

長谷川　佑子
元理学部第一部教授

長谷川先生は昭和39年から本学に在職され、理学部第一部化学科幹事、同学科主任等を務められました。教育面においては260人を超える卒業研究生を輩出するなど、本学の教育に多大な貢献をされました。また、教育面の功績は本学にとどまらず、アジア分析科学会議の実行委員長を務めた際、アジアの各国の学生に渡航費・滞在費を助成するシステムを築き上げ、アジア諸国の学生の分析科学への関心を高めるのに貢献されました。

近藤　昇一
元理学部第二部教授

近藤先生は昭和35年から本学に在職され、理学部第二部化学科主任、理学部第二部学部長等を務められました。また、理学研究科委員会委員、理事長室委員会委員等多くの委員を務められました。

近藤先生の専門は液晶化学で多くの研究業績を挙げ、本学の液晶化学研究を牽引され、多くの博士を育てています。また、日本液晶学会で理事としても学会活動に貢献されました。

谷　辰夫
元工学部第二部教授

谷先生は昭和63年から本学に在職され、工学部第二部電気工学科幹事、同学科主任等を務められ、諏訪東京理科大学に移られてからはシステム工学部長、工学・マネジメント研究科長等を務められました。

谷先生の専門は太陽エネルギーをはじめとする自然エネルギー利用技術の開発およびその応用で、電気学会の評議員をはじめ、国際太陽エネルギー学会理事、日本太陽エネルギー学会会長等を務められ、自然エネルギー利用関係の第一人者として活躍されています。

青木　基次
元理工学部教授

青木先生は昭和46年から本学に在職され、理工学部教養幹事、同主任等を務められました。

青木先生の研究分野は、人間の労働の本質に関する哲学的考察と倫理学にあり、レフェリー付論文8編のほか、「西洋哲学史」や辞典など7編、翻訳1編に携わられました。また、著書2冊を出版され、両著書は、乞食僧良寛の人と思想を通じて現代人に示唆するところの多い書物として高く評価されています。

金場　昭範
元理工学部教授

金場先生は昭和42年から本学に在職され、理工学部教養幹事、同主任等を務められました。

研究活動においては、体育方法学的、コーチング学的研究に重点をおかれ、スポーツ教育現場における実践的研究において大きな成果を上げられております。特に、テニスの初心者から上級者までの指導においては、わかりやすい指導方法を開発され、独創的な論文としてまとめられ、高い評価を得ています。

小林　武雄
元理工学部教授

小林先生は昭和42年から本学に在職され、理工学部教養幹事、同主任等を務められました。

小林先生の主な研究分野は、ドイツの作家ハインリヒ・フォン・クライストの文学で、近代人の内面と現実、作品内における感情と言葉の関係などをテーマとして研究を続けてこられ、雑誌「ドイツ語」にクライストの作品の注釈を寄稿されています。近年ではスイスの現代作家マックス・フリッシュについても研究成果を発表されています。

新任教員　2氏紹介

①最終学歴　②前職　③研究分野　④学位

【薬学部】

◆薬学科

准教授　根岸　健一（ねぎし・けんいち）

①北里大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程修了　②武蔵野大学薬学部専任講師　③臨床薬学　④博士（臨床薬学）

【山口東京理科大学工学部】

◆機械工学科

教授　貴島　孝雄（きじま・たかお）

①徳島県立徳島東工業高等学校卒業　②マツダ株式会社EXファミリー　③自動車工学

I部体育局（3地区）が

夏季リーダーズキャンプを開催

部活動やクラブの代表者を対象とする1部体育局（3地区）の夏季リーダーズキャンプが、8月30日（月）・31日（火）の両日、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、100人が参加しました。

リーダーズキャンプは体育局本部の主催で開催され、神楽坂支部・野田支部・久喜支部の3地区に所属するクラブの新旧幹部が参加し、幹部としての自覚やチームを運営する能力を身につけることを目的とした研修会です。

今回は普段交流のない各クラブが、幹部としての悩みや考えを共有して解決する「しゃべり場」を設けたり、全日本女子ソフトボールがオリンピックで金メダルを獲得する土台を作った宇津木妙子・元監督の講演を拝聴したりと充実した2日間となりました。

応急救護講習で心臓マッサージの指導を受ける

学長の著作紹介

『太陽（たいよう）と光（ひかり）しょくばいものがたり』

藤嶋昭学長の著書『太陽（たいよう）と光（ひかり）しょくばいものがたり』（偕成社）が出版されました。本著は絵本作家として有名なかこさとし氏と村上武利氏、中田一弥氏、落合剛氏、野村知生氏との共著で、学長の光触媒に関する研究を子ども向けに説明した絵本です。

このように本学では科学啓発に積極的に取り組み、子どもが理科に興味を持つようになる活動を行っています。この他、年間を通してさまざまな子ども向けイベントを行っており、情報は随時ホームページで更新しています。

■出版社による紹介

現在注目されている太陽エネルギーを利用した最新技術、光触媒。セルフクリーニング（自浄作用）機能があり、その技術は建物の外装では、実際にかなり使われるようになってきています。これからさらなる発展や普及も期待されている光触媒のしくみについて、実験を交えながら、知識絵本のパイオニアかこさとし先生と、発見者の藤嶋昭先生、神奈川技術アカデミーの光触媒研究員たちが、やさしく、わかりやすく説いていく絵本。

【概要】

《著者》藤嶋昭、かこさとし、村上武利、中田一弥、落合剛、野村知生＝共著　かこさとし＝絵

《定価》2、310円

維持拡充資金 第二期 寄付者芳名

「維持拡充資金（第二期）」にご賛同いただき、ご寄付を賜った方々のご芳名を掲載します。今回は、2010年4月1日から7月31日までにお振込みいただいた分です。

ご芳名は区分別・金額別・五十音順ですが、区分で重複する方はいずれか一つに掲載させていただきました。

【同窓生】
◇金600万円
森野 義男様
◇金110万円
酒井 陽太様
◇金100万円
大久保 理様
◇金50万円
飯田 行郎様 藤城 崇様
◇金20万円
石神 一郎様 葛田 正雄様
出来尾祐美様 吉野 篤様
◇金15万円
大久保純也様 匿名 1名
◇金12万円
守屋 茂様
◇金10万円
藍沢 眞一様 内山 孝子様
内山 龍夫様 大井小枝子様
小田 幸平様 後藤 芳孝様
菅原 通様 土屋 律子様
西澤三千治様 匿名 1名
◇金5万円
上野 實様 太田 昌孝様
大橋寿賀雄様 岡本 公爾様
貝瀬 慶裕様 垣野 義典様
樫山 薫明様 加藤 正義様
小池 昷爾様 五味 愛治様
志賀 愛子様 新堀 淳一様
髙木 重雄様 永田 幸令様
中西 繁様 西山 隆史様
馳尾 昭司様 古屋東一郎様
前澤 浩様 和久井 清様
匿名 2名
◇金3万円
浅田 恒雄様 海野 格様
江田 諭司様 小松 良行様
佐藤 隆信様 田中 直樹様
西川 智哲様 本間 猛様
匿名 3名
◇金2万円
安藤 勉様 植松 捷之様
片山俊一郎様 窪田 茂様
髙橋 治六様 韮沢 善雄様
宮宅 勇二様 山道 三郎様
匿名 1名
◇金1万2000円
吉田 治様
◇金1万円
石井 正吾様 伊藤 裕朋様
今泉 伸夫様 岩崎理江子様
岩永 好生様 植松 光子様
宇野 徹平様 大関 光様
大野十司夫様 岡田 一成様
小川 悦朗様 粕谷 博様
加藤 晴男様 金井 健様
木内 忠興様 菊池 郭元様
木戸岡 節様 木村 秀行様
久保 良宏様
小平 勇次様 坂本 幸教様
塩田 博様 末岡 善樹様
杉田 政久様 杉山 靖夫様
諏訪 正二様 髙池 英次様
髙林 利夫様 髙原 光様
田島 英幸様 田代 征雄様
富井 圭介様 鳥居 耕一様
中俣 正憲様 中村 實様
延澤 忠真様 八谷 武司様
福田 浩嗣様 藤原 茂樹様
満山 進様 宮下 祐二様
宮田 直子様 三好 博雄様
本井弥栄子様 森川 和哉様
森下 誠次様 矢野 裕之様
山本 忠次様 吉田 建夫様
脇 幸吉様 渡邉 正純様
匿名 4名
◇金9790円
橋本 榮治様
◇金5000円
浅川 智美様 奥山 宏様
室井 淳様 匿名 1名
◇金3000円
吉元 信一様
◇金2000円
酒井 薫様
◇金1000円
坂村 幸伸様 匿名 1名
【元教職員】
◇金200万円
恒松 康彦様
【教職員】
◇金81万7201円
馬場 錬成様
◇金50万円
坂本 功様 澤 芳昭様
田沼 靖一様
◇金30万円
河村 洋様
◇金25万円
佐藤 毅様
◇金15万円
藤野 仁三様
◇金10万円
石原 正彦様 伊丹 敬之様
井上 洋様 菅原 秀章様
髙 久晴様 成松 恭平様
匿名 1名
◇金8万円
白石 安男様
◇金6万円
山田 俊彦様
◇金5万円
阿部 憲孝様 宇津 栄三様
木村 悦郎様 藤嶋 昭様
匿名 3名
◇金4万円
山下 輝雄様
◇金3万円
加賀谷貞夫様 分島 郁子様
◇金2万円
佐伯 政俊様
◇金1万円
大木 達也様 岡 淳一郎様
牧 高司様 巻田 悦郎様
匿名 1名
◇金5000円
佐竹 彰治様
◇金4000円
樋上 賀一様
【法人】
◇金100万円
株式会社清和ビジネス様
◇金30万円
株式会社佐藤秀様
◇金5万円
有限会社弘商様
株式会社日泉商事様
株式会社日本機材様
【こうよう会】
◇金1170万8000円
個人 260名
○入金額
[個人] (165名)
1992万4991円
[法人] (5社)
145万円
[こうよう会] (260件)
1170万8000円

創立125周年記念事業 募金報告

（学）東京理科大学理事長 塚本桓世
東京理科大学維持会会長 森野義男

学校法人東京理科大学は平成15年11月から平成21年12月末日まで約6年の期間にわたり、創立125周年記念事業募金活動を展開してまいりました。周年募金を通じて母校に貢献しようという同窓生、保護者の方、法人、団体、教職員の方々からの励ましのご声援を数多くいただきました。

また、募金への多大なるご支援を賜ることができましたことは、今後の一層の発展に結びつくものと期待し厚く御礼申し上げます。

維持会では、大学の維持発展と共に次の世代へ向けた募金活動への基盤づくりを目指した取り組みを図ってまいります。引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

創立125周年記念事業募金額集計（平成15年11月1日～平成22年5月31日）

同窓生	2,520人	676,498,230円
教職員	711人	307,040,771円
一般	37人	31,760,000円
団体	151団体	37,627,343円
こうよう会	2,699件	181,966,290円
法人	305社	1,003,190,000円
合計	—	2,238,082,634円

創立125周年記念事業 募金の銘板について

創立125周年記念事業募金に寄付を賜りました方のご芳名を「銘板」に刻み、野田キャンパスと神楽坂キャンパスで末永く顕彰させていただくよう準備を進めております。

●対象とさせていただく方々
個人寄付 10万円以上のご寄付者
団体寄付 10万円以上のご寄付団体
法人寄付 100万円以上のご寄付法人

●銘板設置場所と設置時期（予定）
野田キャンパス
場所：カナル会館（平成18年3月竣工）
時期：第1期 平成18年6月設置
第2期 平成20年10月設置
最終期 平成22年10月設置予定
神楽坂キャンパス
場所：大学会館（平成23年3月竣工予定）
時期：竣工後

総合研究機構フォーラム 2010

Only in TUS を目指して

東京理科大学総合研究機構では、8月30日（月）、31日（火）の2日間にわたり、野田キャンパスで総合研究機構フォーラム2010〝Only in TUSを目指して〟を開催しました。

総合研究機構は、本学における横断的研究の活性化、学内・外の壁を取り払った共同研究の推進、ならびに社会との連携の強化等を実現することを目的として設置されました。

今回のフォーラムは、各研究センター、研究部門、社会連携プロジェクト、共同利用共同研究拠点の代表者による最新の研究成果の報告に対する徹底した意見交換をもとに、連携の可能性を探り、本学における研究活動のより活発な展開を目指すことを目的に開催されました。

2日間あわせて延べ450人が出席し活発な意見交換が行われ、各組織内でのテーマの明確な絞込み・位置づけとそれに向けた連携協力体制の構築、さらにはそのような組織内での体制をもとにした組織間の連携の可能性が追求されました。30日夕方の交流会も大盛況で、意見交換が活発に進みました。

福山秀敏・機構長のまとめとして、今後の総合研究機構における研究活動を活性化するためには、

（1）研究テーマの先鋭化
（2）研究メンバー改編を機動的に行って外部とのつながりを構築し、研究活動をオープンにすること
（3）共通テーマを持つグループによる領域ワークショップの開催
（4）科研費等の外部資金への応募

といった課題等が掲げられました。2日間にわたり、総合研究機構の関係者が一堂に参集し、分野の異なる研究成果に熱心に傾聴し、意見交換したことにより、今後さらなる横断的研究の発展が期待されるフォーラムとなりました。

多くの参加者が訪れた

生涯学習センター 親子科学教室を開催

極低温の世界を体験

7月27日（火）から29日（木）に、野田キャンパスセミナーハウスで、生涯学習センター主催の公開講座「親子科学教室」が行われました。この講座は、毎年小中学生と保護者を対象として、夏休み期間中に2泊3日で生物・物理・化学などさまざまな分野の実験を行うもので、毎年多数の親子に人気のイベントです。

今年度も、親子、友達同士で考え、体験しながら科学全般に興味を増やすことができるようなさまざまな実験を用意し、親子合わせて82人が参加しました。3日間にわたる楽しい実験・体験を通して、子どもたちからは「自分で実験をしたり、作ったりして、不思議だったことが詳しくわかった（小5）」、「科学はこんなに楽しいんだなと思った（小4）」という声が挙がり、保護者の方からは「親にとっても良いリフレッシュになりました」「来年もまたぜひ参加させていただきたい」とのコメントが寄せられました。

年に1度の親子科学教室ですが、親子そろって夏休みの良い思い出が作れるということで大変人気があり、リピーターも多くみられます。この講座は次年度以降も継続して開催する予定です。

オリジナルICカードを作ろう

新コロとカラダの健康 ⑦

ウイルスに負けない カラダをつくる

☆インフルエンザの予防を！

秋風が立つとすぐにインフルエンザの季節がやってきます。昨年は新型インフルエンザが猛威を振るいました。最も大切なのはワクチンの接種を受けることですが、受けたからといって完全に予防できるわけではありません。日ごろから生活の中で感染を防ぐ工夫をすることが必要です。

●乾燥を防ぐ工夫（加湿器・マスクの着用など）をする
●帰宅後は手洗い・うがいを行う
●十分な睡眠をとる
●栄養のバランスの良い食事と十分な水分補給

以上を心がけて日常の習慣にしてください。

（保健管理センター）

☆グループ体験の案内

学生よろず相談室では、毎年学生を対象に野田キャンパスセミナーハウスでグループ体験を実施しています。例年9月でしたが、今年は10月30日（土）に予定しています。人とのコミュニケーションが苦手な人、苦手だと思い込んでいる人にお薦めです。カウンセラーと一緒に用意されたプログラムをこなしていくうちに、自分の言葉で話ができる、コミュニケーションのとり方に気がつくことがある、というのが参加した学生の感想で好評のようです。懇親会の費用（2,000円程度）はかかりますが、自分を見直すひとつの機会です。学部・学年は問いません。就活が目前の人、なんとなく大学になじめないと感じている人、いかがですか。詳細は各校舎学生よろず相談室へお問い合わせください。

（学生よろず相談室）

悼

大木 正路 元教授
（工学部第二部電気工学科）
平成22年7月4日逝去されました。89歳。

武田 一美 元講師
（理学部第二部化学科）平成22年7月23日逝去されました。85歳。

2012年度 就活始まる！ 今求められているのは何か!?

2011年度の就職戦線の総括をもとに、2012年度の展望を探ってみました。
さらに、毎年多くの理科大生が就職している企業の人事担当者の方に、就職活動中の学生に求めるものをうかがいました。

就職特集

株式会社ディスコ　調査広報室長
前岡 巧 さん

「日経就職ナビ」「日経進学 Navi」を共同運営している株式会社ディスコで、調査部門の責任者として企業の採用動向、学生の就職活動や意識などをリサーチ。企業や大学関係者に向けた分析レポートは、前岡氏のコメントとともに、大手メディアでも頻繁に取り上げられている。レポートは大手メディアの基礎資料として活用されており、またそのコメントも各種のメディアに掲載されている。

買い手市場の継続がもたらす各企業の活動計画

２０１１年度は、買い手市場が継続することを前提に序盤から活発な就職活動を続けてきた学生たち。１人あたりのエントリー数が１００社近いというのも珍しくなかったと言います。そして、２０１２年度も景気状態から見るに、企業優位の採用市場が続く可能性が高いと言わざるを得ません。

さらに各企業は、予算の削減を余儀なくされています。いかにコストをかけずに、前年よりも高い成果を上げるか。多くの企業の採用担当者はこの難題を突きつけられ頭を悩ませています。

そのような状況下、２０１１年度を見てみると「学内セミナー・説明会」の増加が見られ、企業は、特定の大学へのアプローチを強化しようという動きが端的に見られました。今年度も企業が「学生との接触機会」を重要視し、大学とのパイプ、学生との触れ合いが広がっていくことに期待します。

1社1社に深く取り組む姿勢を

一方学生は、「1社でも多く」「少しでも早く」内定をとるために、1社1社に対する取り組みが浅くなっているのが現状です。ある学生の「内定を1つとってからが、本当のスタート」の一言が昨今の就職活動を象徴しています。

厳しい環境下、より現実的に確実な手段を選ぼうとする意識は理解できますし、企業と学生の接触機会が増えることは前述したとおり歓迎します。しかし、数をこなすために1社1社に対する取り組みが浅くなることに企業側は当然いいイメージを持ちません。

グローバル競争を勝ち抜くために、文系理系問わず、コミュニケーション能力の高い人材を獲得したいのが企業の本音であることは今年度も変わりません。自分が入社したい企業はどういう企業なのか、そこで自分には何ができるか、大学の就職課や家族ともよく話し合い、この長く厳しい就職活動を実りあるコミュニケーションの場としてもらいたいと考えます。

人事の声

今、理工系学生に求められているもの

理系のセンスと論理的な思考に期待しています

JR東日本

人事部採用グループ　**岡田 健吾**さん

マニュアルにこだわらず自分らしさを出して欲しい

ＪＲ東日本の採用は、総合職にあたる「ポテンシャル採用」と、「プロフェッショナル採用」の2本立てになっています。ポテンシャル採用は、ＪＲ東日本が展開する広範なビジネスフィールドで活躍していただくことを期待した採用です。プロフェッショナル採用は、駅、乗務員、列車制御システム、情報通信、車両など鉄道事業を支えるプロフェッショナルとして地域密着で活躍していただきます。

どちらの採用にも共通していますが、求めている人材像の基本的なアウトラインは「挑戦すること、仕事を好きになること」です。会社全体を成長させる業務革新をしながら、高い目標に向かって挑戦していく人材を求めています。そのために人物本位の採用を心がけており、どんなことを頑張ってきたか、どんなことに打ち込んできたのかを聞くようにしています。ですから学生の皆さんにも、面接では本音で語って欲しいですね。採用は、お互いに選び選ばれる立場ですから、もっとストレートなやり取りをしてもいいと思います。

新しいこと、面白いことをやれる分野がたくさんある

なかでも理系の学生に期待しているのは、論理的な思考です。研究や論文を通して論理的思考の訓練はできていると思いますが、その考え方を会社でもぜひ生かして欲しいと思います。当社には、大学で学んできた専門知識や技術を発揮できる幅広い仕事がたくさんあります。例えば、耐震補強について語らせたら誰にも負けないなど専門に特化した社員がいる一方、他の専門系統と話し合って、仕事をつなぎながらプロジェクトを進める能力に長けた社員もいます。そのほか、列車ダイヤを組むための論理能力を使っている数学科出身の社員や、理科大の建築学科出身で駅舎のデザインに加えて車両デザインに関わった社員もいます。もちろん理系の方が文系総合職を目指したいという場合もあります。当社には6万人の社員がいますから、いろいろな人材に期待しています。

[採用計画]

ポテンシャル採用、プロフェッショナル採用の両方で技術系の職種を募集予定です。

[学内説明会日程（予定）]

神楽坂キャンパス：11月 9日（火）15：00～16：00
野田キャンパス　：11月11日（木）16：50～19：00（2回開催）
久喜キャンパス　：11月26日（金）16：00～18：10（2回開催）

強みである研究を軸に、自分探しをして欲しい

日立製作所

人財開発部採用グループ
部長代理　**石原 宏**さん

学生の希望と事業所のニーズをマッチング

日立製作所の採用は、なるべく多くの学生と会って、日立の良さや日立の真実を伝え、学生が入りたい部署や事業所に入ってもらおうという考え方で行っています。そのために技術系採用ではジョブマッチングというシステムを導入しています。これは、学生が希望の分野を選び、次に希望する事業所でエンジニアやマネージャーと直に会って、学生の希望と事業所の採用ニーズとをお互いに確認していくというもの。いわばお見合いのようなものです。まずは、リクルーターとコンタクトをとってじっくり話をしてください。

その際には、明確な将来のビジョンを持っていて欲しいと考えています。将来はどんなエンジニアになりたいか、どんなものを作っていきたいか、ということです。理系の学生は、自分の強みである研究という柱があるわけですから、自分の将来を描きやすいはずです。

最後まで突き詰めていくことが会社でも求められる

学生の皆さんには、何かしらひとつのことをやり遂げて欲しいと思っています。それは部活でも、アルバイトでも、ボランティアでもいいと思います。何かを成し遂げるには、それまでに本人がいろいろな決断をしてきたはず。そういう人は、きっと会社に入ってからもさまざまなことを乗り越えられるだろうと判断するわけです。研究を成し遂げたという学生もいますが、学業は当たり前。個人的には、研究に明け暮れるだけというのは、視野が狭いと思っています。会社に入ると、研究者であっても、設計・営業部門などさまざまな関係者と連携して仕事をしていかなければならないからです。

当社には、理科大から毎年30人ほどが入社しています。共同で採用活動をしているグループ会社も含めた技術系の採用人数は約７００人ですから約４％にもなります。理科大の学生は、みなさん真面目な方が多い印象を持っています。当社においては、社会インフラの仕事が多いですから、安心・安全が第一。真面目なことは大切ですが、もう少し意外な一面があってもいいですね。

[募集職種など]

募集職種は、研究開発、設計開発、生産技術、品質保証、システムエンジニア、営業技術など。学校推薦、自由応募で募集します。

[学内説明会日程（予定）]

神楽坂キャンパス：10月13日（水）18：00～
野田キャンパス　：11月11日（木）16：50～19：00（2回開催）
久喜キャンパス　：11月25日（木）16：00～

葛飾 Walk!! vol.2

葛飾はおもちゃ産業が盛ん!!

中小の工場が集まる葛飾区は、昔からおもちゃ産業が盛んな町。
昔懐かしい、あのキャラクターもここ葛飾で誕生しました。

葛飾おもちゃ産業の始まり

大正初期、葛飾地区では、近代工業の先駆けとなる製紙工場、化学工場などが創設されました。同じころ、玩具産業の始まりとなる大規模なセルロイド工場も設立されました。第二次世界大戦後は、おもちゃをはじめとするセルロイド製品が、日本の輸出品の中で重要な役割を果たしました。葛飾地区は、その生産額の約9割を担っていたため、おもちゃの町として知られるようになったのです。

葛飾おもちゃ産業を知る

トイランド　▸葛飾区青戸7-2-1 テクノプラザかつしか

テクノプラザかつしか内にあるトイランド。葛飾区のおもちゃ産業をパネルや実物で紹介しています。歴史や資料も充実しているので一見の価値ありです。

株式会社タカラトミー

▸葛飾区立石7-9-10

株式会社タカラと株式会社トミーが合併してできた会社。通りに面したショーウインドーには、おもちゃがにぎやかに飾られ、地域の方々の目を楽しませています。トミカやリカちゃんなどを制作しています▸▸

葛飾から生まれたおもちゃたち

トミカ

1970年に発売され、今年40周年を迎えた日本初の手のひらサイズ国産車ダイキャスト製ミニカー。現在までに、累計販売台数は5億3800万台を超え、3世代にわたり愛されるブランドに成長しています。

リカちゃん

1967年に誕生した女の子の夢や憧れをかなえる着せ替え人形。時代ごとの文化や流行を取り入れながら、3世代にわたって愛されています。最近では人形の枠にとどまらず、キャラクターとしての活動も増えています。

©TOMY

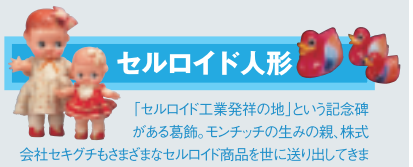
ブリキのおもちゃ

今ではプレミアがつく商品もあるブリキのおもちゃ。葛飾には今も昔と変わらぬ製法で作り続ける老舗工場があります。

制作：三幸製作所　葛飾区東四つ木4-48-8

モンチッチ

葛飾生まれの世界的スター。1974年の発売以来、フランスやドイツなどでも大人気。株式会社セキグチではコラボモデルなど常に新しいモンチッチを展開しています。



セルロイド人形

「セルロイド工業発祥の地」という記念碑がある葛飾。モンチッチの生みの親、株式会社セキグチもさまざまなセルロイド商品を世に送り出してきました。大正7年（1918年）にセルロイド加工所として設立された老舗です。

©SEKIGUCHI

制作：株式会社セキグチ　葛飾区西新小岩5-2-11

Pick up Science Lab.

次世代蓄電池技術の宝庫

駒場研究室で化学を応用する〈センス〉学ぶ学生たち

生活を変える製品開発のカギ握る新時代の二次電池

携帯電話にスマートフォン、モバイルPCに電気自動車……。これからの社会を先導し、価値観やライフスタイルを日々変えていく製品たち。その開発が、エネルギー面を支える充電式電池＝二次電池の開発と二人三脚の関係にあるのは想像に難くない。安全で高出力、高容量と長寿命、充電時間の短縮、安価でコンパクト――。〈全方位〉から求められる二次電池の性能向上を目指し、成果を挙げる駒場研究室。企業からの産学連携を求めるアプローチは途絶えることがない。

「石油の次はリチウム」と語る理学部第一部応用化学科・駒場慎一准教授

〈ポスト〉リチウムイオン電池を目指す

神楽坂校舎・化学棟にある駒場研究室では、電池技術全般を幅広く追う。

理学部第一部応用化学科の駒場慎一准教授は「石油の次は、リチウムだといわれているんですよ」と言う。近年、二次電池の主流となったリチウムイオン電池の内部を満たす電解液に含まれ、正極と負極の間を行き来するリチウムはその資源の需要が激増し、世界各国が争奪戦を起こすほど。

リチウムは携帯電話なら1台につきスプーン1杯程度で済むが、電気自動車では約6キロを要する。リチウムの材料費だけで20～30万円かかり、車体価格を上昇させる要因になっている。電池としての性能は高いリチウムイオン電池だが、材料のコストが高いことは弱点といえるのだ。

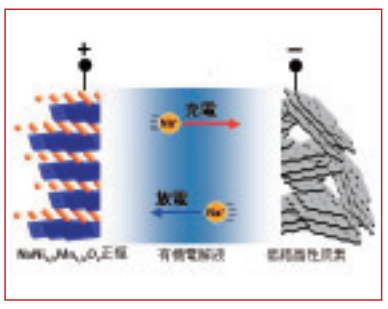
では、リチウム以外のもっと入手の容易な物質で代替できないのか。駒場研究室が目をつけているのは周期表においてリチウムの下にあるナトリウムだ。

「かねてから代替物質としては一番可能性があることは明らかでした。ただ、適した負極の材料が見つからないため、研究はほとんどされてきませんでした」

駒場研究室では、このナトリウムにこだわった。研究室の評価装置で充放電を10回も繰り返すと性能が極度に落ちてしまうナトリウムを用いた二次電池を、100回以上繰り返しても性能を落とさないレベルにもっていった。「携帯電話のようなサイズであれば、3年程度は性能を保てる。今後、研究が進めば実用化の可能性も高いと考えています」。これは世界初の成果だという。

高容量、長寿命、安全な電池をつくる

ナトリウムイオン二次電池の研究は、電池反応系から、すなわち何もないところからの〈新規開発〉にあたる。だが、リチウムイオン二次電池を改良する方向の研究も盛んに行う。高容量を実現するための正極の結晶構造の解析。正極材料を高価なコバルトから安価なマンガンや鉄に換えても容量を維持するためのノウハウ。黒鉛負極を高分子物質で覆い、電池の寿命を延ばす電解液。難燃性で安全な電解液を用いる技術や、黒鉛の数倍の容量を見込めるシリコン系の材料を負極として用いる技術――研究室の視線は〈全方位〉から次電池のニーズ、それぞれに向いている。



新規ナトリウムイオン二次電池

共同研究で、センスを磨く学生たち

二次電池の研究は、正極、負極、電解液の材料を換えたり、構造に工夫を施したりした電池の充放電を繰り返し、結果を精密に分析することで前進する。「条件を決めて1カ月、2カ月充放電し続けるんです。容量は？　電圧は？　寿命は？　それらがどう変化するか。分析し、必要であれば電池をばらして電子顕微鏡で観察したり、より高度な分析機器のある施設に持ち込むこともあります」

研究室に所属するのは、正極に用いるセラミックスなど無機材料に興味のある学生や、電解液の領域で接点の多い有機物に興味のある学生などが中心。その他、バイオ電池と呼ばれる砂糖を使った全く新しい原理の電池に興味のある学生なども見られ、研究室の研究領域は偏りなく自然とカバーされているそうだ。

企業との共同研究の機会の多さも、学生にとっては大きな魅力となっている。共同研究では、「この技術は使えるか」「将来進歩が見込めるか」について、企業がどのように判断を下しているか――その考え方に接し、実社会で投資される価値に足る研究とはどんなものかを肌で感じられる。「学生たちがそうしたセンスを磨くのには素晴らしい機会。企業人がどういった発想で物事に取り組んでいるのかを知ってほしい。これからの時代は、研究者もコスト意識や実用面を考えていく時代でしょうから」と駒場准教授は言う。

「共同研究はどんどん増えて、例えば電気自動車用の電池ならば、現在10社と共同研究しています。私たちのような基礎分野の研究室に企業からの声が掛かるのはこれまでは少なかった。大学が発信する新しい化学技術に初期段階から関わっていきたいと思っているということでしょう」

実社会のニーズを知り、その視点を研究に生かすスキルを、大学にいるうちから磨いた研究室の学生は「就職面接で企業をうなずかせられる学生」だと、胸を張る駒場准教授。環境・エネルギー技術への関心の高まりに伴い、世界中の研究者がしのぎを削り、企業も熱い視線を送る二次電池の世界では、抜きん出ることの難しさと、開発した技術が実社会で生かされる喜びを知ることができる。研究の面白さが凝縮された世界といえそうだ。

企業との共同研究に取り組む学生たち

「録音の歴史」を開催

近代科学資料館

東京理科大学近代科学資料館（館長・竹内伸）では、来る10月29日（土）から来年1月29日（土）までの期間、録音機器を一堂に集めた企画展示「録音の歴史」を開催します。開催期間中の週末（日程の詳細はHP参照）、「昔の音を聴く会」と題して、エジソンの蠟管、縦振動レコード盤およびベルリナーの水平振動レコード盤を当時の蓄音器で聴き比べます。10人以上の団体参加をご希望の場合は事前にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】近代科学資料館
03－5228－8224
http://www.tus.ac.jp/info/setubi/museum/
（開館時間）10時～16時
（休館日）日曜・月曜・祝日・年末年始

サイエンスフェスタin福岡

科学の世界を親子で体験！

8月29日（日）に福岡ファッションビルFFBホールで、本学と立命館大学の共同で「サイエンスフェスタ～科学の世界を体験してみよう！」が開催され、小中学生、高校生と保護者の方など、約430人が参加しました。

本学からは、山口東京理科大学、諏訪東京理科大学の協力も得て4つのブースを出展。参加者の皆さんに科学の魅力を体験的に知ってもらう機会となりました。

参加した小中学生からは「いろいろな分野の実験を体験することができて楽しかった」、保護者の方からは「大学生のことがわかって娘の進路にも役立ちそうです」などのコメントが寄せられました。

また当日の模様は、地元のテレビ放送等でも紹介され、イベントの盛況ぶりや本学の理工系分野への啓発活動への取り組みなどが紹介されました。

〔出展ブース〕
・生物の設計図～遺伝子を見てみよう～
（東京理科大学　理工学部応用生物科学科　池北研究室）
・熱で電車が走る⁉～熱電変換材料を体感してみよう～／オリジナルICカードを作ろう
（東京理科大学　基礎工学部材料工学科　飯田研究室）
・くねくね泳ぐウナギ型ロボットを操縦してみよう！
（山口東京理科大学　工学部機械工学科　稲垣研究室）
・音楽を光にのせて！～作ってみよう光通信～
（諏訪東京理科大学　システム工学部電子システム工学科　田邉研究室）

生協スタイル No.6
秋から始める 英語学習！
就活・大学院入試対策のための 理科大生協英語学習書ベスト!!
2013年卒業予定者の就職活動がこの秋から本格化します。研究もビジネスも国際化している今、理工系の技術者・研究者にとって英語は国際標準語です。最近は大学院入試にもTOEFL化、TOEFLなどのテストのスコアの提出が求められるようになりました。
実践的な英語の習得には多くの時間を要しますが、TOEICなど、TOEFLなどのテストのスコアを短期間で向上させることは決して不可能ではありません。就活や入試を控える3年生は今すぐ学習を開始しましょう！
そこで今回は、理科大生に人気の高いTOEIC®、TOEFL®、TOPIKテストの学習書を紹介します。
そのスキルは国際英語検定協会（4月1日現在）。きちんとした力です。
TOEICテスト対策ベスト3
① TOEICテスト新形式ピピッとマスター
1のサイト出版　本体価格 1400円
② TOEICテスト総合対策ベスト SLA
国際ビジネスコミュニケーション協会　本体価格 2800円
③ 3分間英単語TOEICテスト730点！
アルク　本体価格 2800円
現在最もポピュラーな英語能力測定テストはTOEICなどテストです。TOEICなどの学習も必須の単語や熟語をしっかり身につけましょう！テスト形式に慣れるための「模試教材」はとても重要です。大学生が理想とするスコアは730点！　個々のレベルに合った目標を設定して効率よく学習しましょう！
TOEFL・TOPIKテスト対策ベスト3
① はじめてのTOEFL・TOPIK単語・熟語
アルク　本体価格 3400円
② TOEFLテストトップ完全攻略
アルク　本体価格 2500円
③ TOEFLテストトピックス完全攻略
アルク　本体価格 2600円
大学院入試によく使われているTOEFL®テストは、北米の大学に留学するための英語力を測るテストです。ただし、現在日本の大学院入試でよく利用されているのは、旧方式のPBT（ペーパーベース）方式を活用したITP（団体受験制度）というテスト形態です。本格的な留学のためにはIBT（インターネットベース）方式を受験する必要があります。そのため大学でよく使われているTOEFL®の学習者の上位は、TOEFL®ITPの学習者が占めています。TOEFL®はどちらかというとビジネス英語、TOEFL®は北米の大学で授業を受けるために必要な英語を中心に出題されます。それぞれのテストの特徴に合わせて、しっかりと対策を立てましょう。
※TOEIC®、TOEFL®、TOPIK®テストの内容はスケジュールは法令・生協のホームページ等を内容を変更です。
www.coop.tus.ac.jp

山口東京理科大学 News

〒756-0884
山口県山陽小野田市大学通一一一
☎0836・88・3500（代表）
http://www.yama.tus.ac.jp/

文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に選定されました

文部科学省の平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」に本学の申請した取り組み「『ものづくり』から生み出すキャリア育成」が選定されました。

本事業は、大学・短期大学において、大学内組織の有機的な連携による全学的な体制のもと、入学から卒業までの間、実学的専門教育を含む体系的な指導を行うことを通じて、学生の卒業後の社会的・職業的自立が図られるよう、大学の教育改革の取り組みを国として支援することを目的としています。

本学では、平成22年3月の「大学教育・学生支援推進事業 就職支援プログラム」に続く同省の大学教育改革支援事業の選定となり、教育力の高さが評価されました。

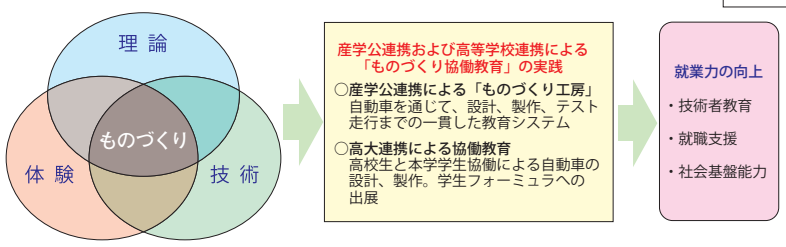
【取り組み名称】
「『ものづくり』から生み出すキャリア育成」
（代表：学長　塚本 桓世）

【取り組み概要】
本取り組みは、本学がこれまで培ってきた産業界との連携、高等学校との連携をキャリア教育に展開して、地域の産業に貢献できるキーパーソンを継続的に生み出すものです。

具体的には、自動車の製造をモデルケースとして、自動車メーカーで長年技術開発に携わり世界的な名車の開発も牽引した実務家教員と自動車業界、自動車や工業に関する教育を展開している高等学校との連携を図り、設計から製作、テスト走行および駆動エネルギーや環境に優しい部品開発までを一つの「ものづくり教育体系」として捉え、ものづくりの本質である「理論」、「技術」、「体験」を体系的に理解させることで「本物の技術者」として社会に通用する人材を育成するものです。

【事業支援期間】
平成22年度から26年度まで（5年間）

【取り組みの概念図】



第1回 山陽小野田市「かがく博覧会」を開催

9月25日（土）、26日（日）の2日間、第1回山陽小野田市「かがく博覧会」が、おのだサンパークで開催され、市内外から親子連れの小中学生を中心に約1900人の入場者があり、大いに賑わいました。

本学は、地域に貢献する大学として、平成18年に山陽小野田市と包括的連携協定を締結し、現在にいたるまでさまざまな連携事業を行っています。特に、初等教育における理科支援事業には力を入れており、これまで、南極昭和基地と市内小学校とのライブ中継授業や、市内小学校での理科の出前実験授業「ほんものの科学体験講座」を実施してまいりました。

今回の「かがく博覧会」は、山陽小野田市との連携事業をさらに発展する形で、市との共同主催により開催されたもので、市内の小学校、中学校、高等学校、大学が一堂に会し、各学校から科学の作品や実験ブースなどを出展。子供から大人まで、科学を学ぶ楽しさや驚き、感動を体感できる催しが多数用意されました。

オープニングセレモニーでは、塚本学長や関係者による挨拶の後テープカットが行われると、親子連れの小中学生が次々と入場。科学作品展や各ブースを歩き回り、夢中になって、化学や物理の実験に挑戦したり、ロボットコーナーでサークル内のロボットを興味深そうに触ったり、全方向移動ロボットに楽しそうに試乗する等、場内は終始、歓声や笑い声が響き渡りました。

また、当日は、本学の学生スタッフが中心となって運営に携わり、市の職員の方や中学・高校の先生と協力しながら、博覧会を盛り上げました。学生スタッフに「是非とも来年も来てみたい」「理科の実験が好きになった」と笑顔で語る小学生もいて、来場者の評判も上々でした。

会場内は子供たちの歓声に包まれた

生涯学習センター講演会のご案内
～マツダロードスター開発ストーリー～

「生産台数世界一の二人乗り小型オープンスポーツカー」として、いまなおギネス記録を更新続ける、世界の名車・マツダ「ロードスター」。

1989年のデビュー以来〝人馬一体〟というコンセプトを追い求め、「思い通りに走る」「乗って楽しい」という感覚的な命題を具現化している稀有なスポーツカーです。

「ロードスター」の生みの親であり、2010年10月に本学工学部機械工学科教授に就任した、貴島孝雄先生が、〝感性〟という捉えどころのない価値にいかに挑み実現していったのか、その秘話を公開します。

日時：平成22年11月21日（日）14：00～15：30
会場：本学5号館2階5201教室
受講料：無料
対象：高校生以上

「ロードスター」と貴島孝雄教授

諏訪東京理科大学 News

〒391-0292
長野県茅野市豊平五〇〇〇一
☎0266・73・1201（代表）
http://www.suwa.tus.ac.jp/

第12回DSPS教育者会議 佐々木貴大さん受賞
（システム工学部 電子システム工学科 4年）

受賞名
2010 DSPS Educators Conference Texas Instruments Japan Best Student Demonstration Award

主　催
ディジタル信号処理の教育を考える会

受賞テーマ
「有色性駆動源つきカルマンフィルタに基づく雑音抑圧法のDSP実装評価」

受賞内容
第12回DSPS教育者会議にて、有色性駆動源つきカルマンフィルタに基づく雑音抑圧法のDSP実装評価が認められ、会議に参加。

本会議では、オーラルセッションで研究紹介をした後に、ポスター・デモ展示では、提案手法をDSP実装した雑音抑圧法を体験していただいた。研究の実用性が認められTexas Instruments Japan Best Student Demonstration Awardを受賞するとともに副賞を授与された。

受賞日：9月10日

研究発表する佐々木さん（左）

オープンキャンパス・スペシャル 賑わう

7月24日（土）、8月7日（土）の2日間にわたりオープンキャンパス・スペシャルが開催されました。439人の参加者を集め、各回ともにとても賑わいました。

参加者は全体会参加の後、特集企画である〝学生トークセッション〟に参加。1回目は「就職の強さの秘密を探る」を、2回目は「信州諏訪の地の魅力とは！」をトークテーマに、在学生の代表者4人が壇上で語りました。その後、学食無料体験、各学科の模擬授業、入試概要説明、キャンパス見学ツアーなどさまざまなイベントへ自由に参加し、本学を十分に体験していただきました。特に研究室公開ではすべての研究室が公開され、見学した参加者は最新の研究を目の当たりにし、驚きと期待で目を輝かせていました。

オープンキャンパス参加者からは「学生が意欲的に取り組んでいる姿が印象的だった」「トークセッションがリアルで大学生活を身近に感じられた」「研究にとても力を入れている大学だということがわかった」などの感想が聞かれました。

学生から研究の説明を受けるオープンキャンパス参加者

ボウリング大会報告

ボウリング大会（学生部主催）が8月6日（金）、スポルト岡谷（岡谷市）で初めて開催されました。学生22人、教員2人、合計24人が参加。学生はストライクが決まると歓声を上げるなどして、スポーツを満喫する時間を過ごしました。

本学では学生、教職員の交流を深めることを目的に学生部委員、学生で組織する「学園生活応援団」という組織を平成21年度末に設立。ボウリング大会も学生からの要望を受けて「応援団」が企画立案したものを学生部が主催して実施することとなりました。

参加した学生・教職員

サイエンス夢合宿

7月31日（土）～8月1日（日）の両日「サイエンス夢合宿」を開催しました。長野県内の小学5、6年生とその保護者40組80人が参加し、キャンパス内にあるセミナーハウスに宿泊する1泊2日の日程で、実験やものづくりを体験しました。

1日目は、LEDとソーラーパネルを使った光通信電話づくりや、液体窒素を使っていろいろなものを凍らせる体験、PCを使ってコンビニ店長を体験したりと、それぞれが興味あるコースでの学習に目を輝かせていました。

2日目は、参加者は7班に分かれて、本学教員や学生スタッフの手ほどきで、コップ蓄音機や天体望遠鏡、空き缶を使った電池で走る自動車などの製作を体験しました。

紙飛行機づくりの参加者

平成23年度 奨学金制度を拡充

昨今の厳しい経済不況に伴い、受験生および在学生の経済支援を目的に、本学の奨学金制度の中から2種類について、採用人数および貸与金額を拡充しました。

①諏訪東京理科大学経済支援奨学金
指定校制推薦入試と一般入試B方式（前期）入試により入学した者のうち、奨学金希望者で成績優秀者各学科8人に入学金相当額（28万円）を給付（採用人数拡充：昨年度各学科5人）

②諏訪東京理科大学奨学金
人物・学業ともに優れ、かつ健康な者で経済的理由により就学困難な学生に年額60万円を無利子で貸与（貸与金額の拡充：昨年度年額36万円）

保証人懇談会報告

本学は10月3日(日)、保証人懇談会を開催しました。懇談会には約420人の保証人が参加、学部別懇談会や個別懇談会で各学科の特徴や理念、学生の本学での様子についての話等を聞きました。

6回目の開催となる今年度より、父母懇談会を名称変更して、学部別に本学の現況や教務、就職状況等の説明など、個別に相談会を実施しました。父母らは自然に囲まれたキャンパスの様子を体感し、学生の本学での様子や今後の進路等について熱心に話を聞いていました。

韓国の強豪テグ大学剣道部が
本学野田キャンパスで合宿

理工学部 教養教授・剣道部顧問 小澤 博

8月2日（月）から6日（金）までの5日間、韓国テグ大学剣道部員16人、監督1人、コーチ1人そして大学側から国際交流委員長、事務職員2人の総勢21人が本学に来校し、本学剣道部との交流が行われた。

テグ大学剣道部は、今年韓国大学選手権大会で優勝した強豪である。その中には韓国ナショナルチームの強化メンバーになっている学生が2人いる。

交流が始まったきっかけは、昨年、私が大韓剣道会前専務理事・徐丙銑氏の招きによりテグ大学で開催された大会を訪問したことから始まる。そして今年、正式に第13回テグ大学総長杯剣道大会招待顧問として招かれ、その際、同会総長からテグ大学剣道部を指導してほしいという依頼があり、本学来校という運びになった。

彼らは野田キャンパス研修センターに宿泊し、稽古は森戸記念体育館剣道場で近隣の指導者の参加を得て、充実した稽古および本学剣道部との親善試合を行った。

さらに、（株）キッコーマンにも協力をお願いし、伝統的な道場建築として日本国内でも有名な春風館（宇都宮市）で稽古をさせていただいた。春風館では、猛暑にもかかわらず高齢の先生方が1時間元立ちをつとめる姿が印象に残った。暑さの中、熱中症も心配したが、鍛えた身体に加えて健康管理も十分に施されていたので怪我や病気もなく、韓国の学生にとっては充実した5日間であったことと思う。

韓国テグ大学剣道部の皆さん

第45回全日本大学ソフトボール選手権大会出場
ソフトボール部 健闘むなしく 初戦敗退

ベンチ前で円陣を組むソフトボール部員

第45回全日本大学ソフトボール選手権大会（通称インカレ）が、富山市岩瀬スポーツ公園などで開かれました。

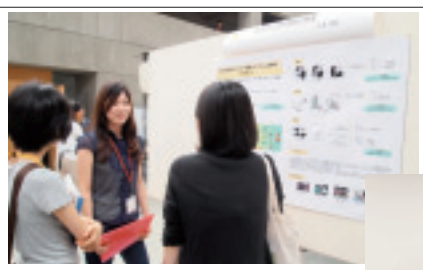
関東大会で 準優勝を果たした本学体育局ソフトボール部は、2年ぶり14回目の出場を果たし、9月10日（金）に初戦でインカレ常連の強豪・京都産業大学と対戦。初回に2点を先制するも、2回に逆転を許し、その後も追加点を奪われました。打線も回を追うごとに調子を上げる相手投手を打ち崩せず、2対9で6回コールド負けとなりました。

試合終了後、ナインは悔しさがにじみ出てきたようで、応援団との総括報告会では涙にくれるナインもいましたが、ナインのプレーは素晴らしいものでした。

京都産業大学 0501031 9
東京理科大学 2000000 2
（6回コールド）

長万部サマースクール2010開催

高校生にサイエンスの魅力を体験的に知ってもらい、理系進路選択支援の一助となるよう企画された「長万部サマースクール2010」が、8月9日（月）から12日（木）の4日間にわたり長万部キャンパスで行われました。


ポスターセッションの様子

「無機定性分析」の実験

今回で4回目となる本イベントには、全国から総勢55人（女子36人、男子19人）の高校生が参加。実験「レオロジー（物質の変形と流動に関する科学）」では、固体と液体を混ぜて中間の現象をつくり、力の加減によって固体にも液体にも変化する様子を水と片栗粉を使って実験。さらに現役大学生、大学院生、社会人によるショートプレゼンテーション、ポスターセッションを開催し、現在取り組んでいる研究内容や仕事内容などについて、直接話を聞く場が設けられました。

台風の影響による雷雨のため、残念ながら予定していた有珠山・昭和新山へのフィールドワークは中止となりましたが、代わりに「無機定性分析」の実験を行いました。この実験は化学を専攻する大学生は必ず学ぶ基礎実験で、午前に「陽イオンの確認反応」実験を行い、午後は各班ごとに異なる未知試料の系統分析が行われました。

また、長万部校舎天文部によるプラネタリウムの上映、飯生神社例大祭への参加など、長万部ならではの企画が実施されました。

参加した高校生からは「いろいろな実験ができ理系のおもしろさを実感した」「現役大学生、大学院生、社会人の方から直接話を聞くことができ、将来のイメージをはっきりさせることができた」などのコメントが寄せられました。

「経営学部 環境報告書」を発行

経営学部では、本年6月に「東京理科大学 経営学部 環境報告書2010」を発行しました。本学部としての環境保全活動は、さかのぼること2003年8月8日にISO14001の認証を取得した時点から始まり、今日に至るまで、環境負荷低減に向けてさまざまな活動に取り組んできました。例えば、各種エコ関連の研修会への参加、外部講師を招聘しての環境問題をテーマにした特別講義、学生によるエコ関連サークル活動、エコ的な観点からの環境整備、各種環境データの収集および分析、学部内での各種キャンペーンの実施等がその代表的な例です。 また、その間、卒業論文として『環境』に関連するテーマを選ぶ学生も数多く見られ、環境意識の高い学生を輩出してきました。昨年度からは、それまでの環境マネジメントシステムの意思を引き継ぎながらも経営学部独自に展開する方向に切り替え、新たな取り組みをスタートさせました。その活動の一環として上記の環境報告書の作成も挙げられますが、内容としてはエコ関連の卒業論文の抄録紹介、各種環境保全活動や環境負荷データの紹介等を含んでおります。

今後は、この独自の活動を経営学部として次の5点を活動の中心に据えて行いたいと考えております。

（1）エコ関連設備の効果に関する調査およびその導入
（2）キャンパスの緑化
（3）環境負荷データの収集と分析
（4）環境報告書の作成
（5）学生と教職員とが一体となったエコ活動の推進

経営学部発行の「環境報告書2010」表紙

神楽坂吹奏楽団による演奏会

神楽坂吹奏楽団が 大子研修センターで演奏会開催

8月28日（土）に本学校外施設の大子研修センターがある茨城県大子町で、神楽坂吹奏楽団による演奏会が開催されました。

会場の大子町文化福祉会館「まいん」には、綿引久男・大子町町長をはじめ、地元のお年寄りから子どもまで約230人が来場。「となりのトトロ」などみんなが楽しめる楽曲も披露され、温かい雰囲気での演奏会となりました。

本紙アンケート協力のお礼

5月から7月にかけて全国41カ所で行われた父母懇談会会場で、本紙やHP、大学案内に関するアンケートを行い、953人から回答をいただくことができました。ご協力いただいたことに感謝申し上げます。

本紙は東京理科大学の現状を伝える広報紙として、今後もさらに充実した内容を目指します。 広報課

編集後記・予告

就活特集（4面）では企業の人事担当者に理科大生の印象を伺いました。専門知識の豊富さと真面目さはピカイチと高評価。加えてキラッと光る個性があれば申し分なしと感じました。皆さんはどんな個性を磨きますか？ （S）

初めて「学報」編集を担当しました。紙面の企画構成、取材、校正作業等、一連の流れが新鮮に感じるとともに、大学広報誌をより魅力的なものにする奥深さも強く感じました。 （H）

次回の「学報」は1月上旬にお届けします。

東京理科大学学生の各種論文・研究発表等の受賞 一覧 （平22年6月～22年9月）

受賞者（所属・学年は受賞時）		受賞名	大会・学会名	受賞テーマ等	受賞日
田中 俊行	総化研・総化・博1	学術奨励賞	日本バイオレオロジー学会	エレクトロスピニングファイバーを用いた血液適合性材料への応用	6月 4日
酒井 弘文	理工研・工化・修2	日本がん転移学会学術集会優秀演題賞	第19回日本がん転移学会学術集会	乳癌骨髄高転移性モデルにおける BMP-7 の役割の解析	6月17日
羽鳥 僚	基礎工研・生物・修2	Best Presentation Award	第43回日本発生生物学会年会	Functions of a helix loop transcription factor, Extramacrochaetae, in development of left right asymmetry in the Drosophila embryonic hindgut	6月22日
伊藤 渉	工研・建築・修2	年次論文奨励賞	第32回コンクリート工学講演会	廃石膏ボード微粉末ー高炉スラグーフライアッシュ混合セメントコンクリートにおける人工軽量骨材の内部養生効果	7月 9日
新井 皓也	基礎工研・材料・修1	優秀賞	第26回日本セラミックス協会関東支部研究発表会	放電プラズマ焼結法を用いた $NaCo_2O_4$-Mg_2Si 熱電変換モジュールの作製と発電性能評価	7月22日
澤田 淳	基礎工研・材料・修1	奨励賞	第26回日本セラミックス協会関東支部研究発表会	ゾルゲル - 水熱法によるチタニア―ゼオライト―多孔質ガラス複合光触媒の作製	7月22日
多田 文武	基礎工研・材料・修1	奨励賞	第26回日本セラミックス協会関東支部研究発表会	銅イオンドープアルカリホウケイ酸塩ガラスの発光挙動	7月22日
雨宮 麻衣	総化研・総化・修1	学生賞	第8回超臨界流体ミニワークショップ	高圧二酸化炭素存在下におけるニトロ化合物の溶解挙動	7月23日
濱田 健史	総化研・総化・修1	学生賞	第8回超臨界流体ミニワークショップ	CO_2 / 金属アルコキシド /Polymer 系の相平衡の測定と相関	7月23日
鈴木 志穂	基礎工研・材料・修2	優秀賞	第39回医用高分子シンポジウム	高分子薬物の放出時間が制御可能なアルギン酸ゲルの表面設計	7月26日
濱田 健史	総化研・総化・修1	学生賞	化学工学会宇都宮大会	高圧における二酸化炭素 / テトラアルコキシシラン系の相平衡の測定と相関	8月19日

理大人

星好きな少年の「わらしべ長者」物語は、NASAを通過して金星へ。

佐藤　毅彦さん

★略歴（さとう・たけひこ）1962年生まれ。東京理科大学理学部第一部物理学科を卒業後、同大学院にて博士号を取得。その後、ハワイ大学で木星大気の研究を続ける。東京理科大学計算科学フロンティア研究センター講師、熊本大学教育学部の助教授職を歴任し、現在、独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）教授。

金星探査機『あかつき』プロジェクトを進める傍らで、年間20～30時間ほど、小中学生の理科の授業を受け持つという。スタートは、東京理科大学の大学院生時代に、非常勤として慶應高校の授業を受け持ったときから。研究者の顔と教育者の顔、どちらが欠けても佐藤教授ではないらしい。

『あかつき』の計画は1999年ころからはじまった。打ち上げが今年の5月だったので、足かけ12年。佐藤教授が携わってから10年が経過している。予定では12月7日に金星に到着し、およそ1週間かけて、約30時間周期の楕円周回軌道に乗る。地球の静止気象衛星と同じような機能で金星の表情を追いかけ、今までに見たことがない分解能で撮影されたデータが続々と送られてくることになっている。

「僕が担当しているIR2というカメラは、地球温暖化問題を考える上でも参考になる、金星大気の状態を波長2ミクロン付近の赤外線でたくさん撮影します。金星では、スーパーローテーションと呼ばれる強い風が吹いているのですが、それは地球気象を再現するように作られてきたモデルでは説明できません。つまり金星の気象を説明することができれば、地球の気象モデルにおいて抜け落ちている〝何か〟を見つけることになります。『金星に学び、地球を知る』というキャッチフレーズは、まさにそのような発見を期待してつけられています。クリスマスのころにはスペクタキュラーな写真が続々と届くでしょう。金星からのプレゼントですね」

研究者として金星の謎を説明するのではなく、夢のある星空の話として語りかける佐藤教授に、研究と教育はもともと対立した概念ではないことをあらためて諭された。自身が渋谷にあった東急文化会館のプラネタリウムに足繁く通ったことや、木星の縞模様をつくる大気や雲の美しさ・不思議さに引かれて研究をはじめたことも、すべては良き理解者である教員や両親の影響だという。

「僕が東京理科大学に入学した当時は、天文学はマイナーな領域。僕自身、教職科目もしっかり履修していましたし、恩師である理科大の川端潔先生との出会いがなければ、趣味として星を追いかけながらどこかの街で教員として生活していたと思います。絶対にNASAへ行こうと考えていたわけではありません。目の前で起こるチャンスというか、縁をたどっていったら、こういう経歴になった（笑）。わらしべ長者の物語なんですよ。でも学位論文のときから木星を研究の柱にしてきた僕が、金星を追いかけている現在に不思議な縁を感じています。川端先生のNASAでのご研究が金星でしたから。チャンスに備えるというか、自分の中にある複雑な要素を認識し、できるだけたくさんの可能性を育てていく。その組み合わせがキャリアと関係するのかもしれませんね。でも一見順調そうですが、しっかりと厳しい理科大の洗礼、留年も経験していますよ（笑）」

※佐藤教授を中心とした有志が開発した「世界を結ぶ星座カメラのネットワーク：i－CAN」。いつでも世界中のどこかの星空を楽しめます。
http://melos.tedi.isas.jaxa.jp/i-CAN/jpn/index.html

10月31日(日) 開催

ホームカミングデー2010 in 神楽坂キャンパス

共催　東京理科大学 理窓会（同窓会）

入場無料 10:00～17:00

みんなの手をつないで、みんなで参加する！理科大オール同窓会！

第5回ホームカミングデー（HCD）のテーマは「新たな絆～世代を超えて～」です。今年も神楽坂キャンパスで開催します。17万余人を超える卒業生、卒業生のご家族、在校生のご父母、そして近隣の方々による絆つくり。大人から子供までもが楽しんでいただける多種多様なコーナーやステージが目白押しです。世代を超えたふれあいの場に是非、お集まりください！

記念講演会

著名な先生方によるバラエティに富んだ記念講演を開催します。
●各回先着450名/希望者には当日、総合受付で講演会入場券を先着順にお渡しします。
●会場：5号館 B3階 アリーナ

【藤嶋 昭 学長 記念講演】
講演テーマ：「教育も研究も感動から」
藤嶋 昭（ふじしま あきら）／東京理科大学学長
東京大学大学院時代に水溶液中の酸化チタンに強い光を当てると表面で光触媒反応が起きる「ホンダ・フジシマ効果」を発見。この光触媒は環境浄化などさまざまな分野で応用が進んでいる。2004年日本国際賞受賞。
●時間：10:30～11:40

【篠原 菊紀 先生 記念講演】
講演テーマ：「脳を上手にだましましょう」
篠原 菊紀（しのはら きくのり）／諏訪東京理科大学共通教育センター教授、東京理科大学総合研究機構併任教授
「学習しているとき」「運動しているとき」「遊んでいるとき」など日常的な脳活動を研究する著名な脳科学者であり、多数の著書やTV出演などユニークな解説で多方面でもご活躍されている。
●時間：14:30～15:30

【秋山 仁 先生 記念講演】
講演テーマ：「思えば遠くまたものだ！～理大、それはホロ苦き初恋の思い～」
秋山 仁（あきやま じん）／理学博士・数学者
東海大学教育開発研究所所長、東海大学理学研究科教授、NHKテレビ・ラジオ講座講師など、幅広い数学教育に力を注いでいる。
●時間：16:00～17:00

【こうよう会】
こうよう会学生懸賞論文表彰式
今回で5回目を迎える東京理科大学の学部学生を対象とした懸賞論文表彰式。
●時間：12:00～12:30
中井泉先生　記念講演会
講演テーマ：「物質から過去を読む文化財の化学 ～尾形光琳「紅白梅図屏風」の新知見～」
中井 泉（なかい いずみ）／東京理科大学 理学部応用化学科 教授、東京理科大学グリーン&セーフティ研究センター長、理学博士（筑波大学）
●時間：12:45～14:00

同窓出会いの広場

事前にお申し込みのあった団体に教室を開放します。OB・OGを対象として、懇親を深めていただける場をご提供します。
●会場：1号館 17階 記念講堂、2号館
●時間：10:00～17:00

懇親会

【卒業50周年記念祝賀懇親会】卒業50年をお祝いして、昭和35年（1960年）に卒業された方を対象とした同窓の皆様をお招きし、旧交を温めてもらう懇親会です。昭和34年（1959年）以前に卒業の方も対象になります。
●会場：6号館 2階 624教室　●時間：14:00～15:30
【卒業20・30・40周年懇親会】昭和45年（1970年）、昭和55年（1980年）、平成2年（1990年）にご卒業された方を対象とした懇親会を開催します。
●会場：6号館 2階 624教室　●時間：11:00～12:30
【平成卒懇親会】平成元年から6年までに卒業された全同窓を招待いたします。お子様用のメニューもありますのでご家族でご参加ください。
●会場：1号館 17階 大会議室　●時間：13:00～16:00

ふれあいライブステージ

OB・OG、現役学生らのライブを開催します。世代を超えたステージへ、是非お集まりください。
和太鼓サークル／OBフォークソングWバンド MASH☆LIQUOR,EKO／神楽坂吹奏楽団／今年も優しさあふれる歌声を届けます。井子コンサート／混声合唱団／舞踏研究部などのステージを予定しています。
●会場：7・9号館前屋外会場　●時間：10:30～16:30

理科大・理窓会紹介

理科大の歴史から研究部門、葛飾キャンパス計画、理窓会の支部、諸会の活動など、様々な展示物や映像を通して、理科大・理窓会について紹介します。理科大坊っちゃん企画として、坊っちゃん焼き（鯛焼き）やグッズ販売などを行います。
●会場：3号館 3階 331～332教室
●時間：10:00～16:30

【健康科学コーナー】生活習慣病予防に欠かせない動脈硬化度・骨密度・体脂肪測定であなたの健康を科学します。 清岡 堅 教授
●会場：3号館 3階 333教室
●時間：10:00～16:30

教育スペシャル

【坊っちゃん科学賞 研究論文コンテスト・発表会】
高校生を対象に全国から論文を募集し、優秀賞の受賞者による発表会を開催します。
●会場：2号館 1階 211階段教室　●時間：10:30～12:30
【数学・授業の達人 発表会】数学教育研究所で公募した《数学・授業の達人》大賞受賞者の表彰式、ならびに受賞者による模擬授業を行います。
●会場：2号館 1階 212階段教室　●時間：13:30～15:30

お笑い演芸会

理科大OBの落語家 桂 歌助、お座敷芸の悠玄亭 玉八、本学落語研究会のメンバーが抱腹絶倒のひとときをお届けします。
●会場：6号館 1階 学生談話室
●時間：①11:15～12:00（桂 歌助）
②13:15～14:00（悠玄亭 玉八）

趣味の広場

【囲碁と憩いの広場】どなたでも楽しめる囲碁コーナーです。
●会場：3号館 4階 341教室　●時間：10:00～16:30
【アートギャラリー】絵画写真書画を多数展示しています。
●会場：3号館 4階 334、335教室　●時間：10:00～16:30
【プラネタリウムで見る『はやぶさ～7年間の軌跡～』】現在話題になっている小惑星探査機「はやぶさ」の地球帰還に関連し、移動式プラネタリウムドームを設置し、「はやぶさ」の出発から帰還までを追跡展示します。
●会場：1号館前屋外会場　●各回定員30名
●時間：①10:15～②11:00～③11:45～④13:15～⑤15:15～⑥16:00～
※「はやぶさ」ミニ講演会
●各回先着50名/希望者には当日、総合受付で講演会入場券を先着順にお渡しします。
●会場：3号館 4階 344教室　●時間 10:00～16:40

キッズプログラム

本年もご家族づれでの参加を歓迎し、お子様が楽しめるイベントを開催します。
【サイエンス夢工房】理科大伝統の自然科学の啓蒙活動で、大学と理数分野への興味を子供から大人まで持っていただける参加型コーナーです。
●会場：3号館 2階 321、323教室、学生ホール
●時間：11:00～16:30

【サイエンスライブショー】
演劇仕立てで大人から子供まで楽しめるショーを開催します。
●会場：2号館 2階 221～223教室
●時間：①11:30～　②14:30～

理科大物産展、学生模擬店

学生による模擬店のほかに理科大ネットワークを活かして北海道、山口、諏訪など地元からの特産物を集めた物産展を開催します。ご家族と一緒に秋の味覚をご堪能ください。
●会場：1・7・9号館前屋外会場　●時間：10:00～16:30

お楽しみ抽選会

豪華な賞品が当たる空くじなしの抽選会を実施します。残念賞でも、イベント内および神楽坂近辺の対象店舗で利用できる「ホームカミングデーお楽しみ金券（1,000円分）」をもれなく進呈します。お子様を対象とした子供抽選会も開催します。

1等　ノートパソコン（ブルーレイディスク対応）
　　32インチ・ブルーレイレコーダー内蔵液晶TV
2等　商品券（1万円分）/旅行券（5万円分）など
3等　ディズニーリゾートギフトパスポート4枚/プレイステーション3など
その他にも、豪華賞品をご用意しております。
●会場：7・9号館前屋外会場　●時間：10:30～16:00

※掲載している商品の型番・色などは実際の賞品と異なる場合もございます。

ホームカミングデーに関するお問い合わせは　理窓会事務局 TEL 03-3260-0725 E-mail:risokai@admin.tus.ac.jp　ホームカミングデーのイベント詳細は、ホームページで。http://www.risoukai-hcd.jp　理科大HCD　検索